

避難時の心得

日頃から避難に必要なものを整理するとともに、避難の手順を家族で話し合っておくと、いざというとき、慌てず避難できます。なお、避難するときは、防災行政無線やテレビ・ラジオ、広報車などからの情報を収集し、一人で行動せず、できるだけグループで行動しましょう。

① 正確な情報収集と早めの避難を

ラジオやテレビで気象情報、災害情報などを収集しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら早めに避難しましょう。



② 避難の呼びかけに注意を

危険が迫ったときは、市役所や消防署から避難を呼びかけます。呼びかけがあった場合は、速やかに避難しましょう。



③ 避難する前に、もう一度火の元の確認を

忘れずにガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切りましょう。



④ 高齢者などの避難に協力を

高齢者や子供、病人、障害のある人などは、早めの避難が必要です。近所の高齢者などの避難に協力しましょう。



⑤ 動きやすい服装、二人以上での避難を

避難するときは、動きやすい服装で、二人以上の行動を心がけましょう。



⑥ 万が一逃げ遅れたら

避難が遅れ、周辺が浸水した場合は、近くの高い建物や自宅の2階以上に避難（垂直避難）しましょう。



避難時の危険箇所

指定緊急避難場所や指定避難所までの路上には、いろいろな危険が潜んでいます。日頃から身の回りの様子を観察し、大雨のときに注意すべき場所を確認しておきましょう。

● 地下道（アンダーパス）

地下道（アンダーパス）は、大雨のときには周辺から水が流れ込むため危険です。



● 土砂災害危険箇所

がけ（急傾斜地）は、大雨が降ると崩れるおそれがあります。大雨のときには近づかないようにしましょう。また、がけの近くに住宅がある場合には、早めの避難を心がけましょう。



● 水路の周辺

水路には、ガードレール等がないことがあります。浸水時には、水路の場所がわからなくなり、流される危険があります。



● 過去に浸水のあった箇所

周辺よりも低くなっているなどの理由で、水が溜まりやすいので、注意が必要です。



避難情報の種類・発令

避難が必要と予想される気象警報が発表されたときや、河川が氾濫するおそれがあるときは、状況に応じて、段階的に熊谷市から避難情報が発令されます。発令があった場合は、対象地域の皆さんは速やかに避難してください。

避難準備情報

対象地域の方々のうち、**避難に時間を要する乳幼児や高齢者などに避難の開始を勧める**ものです。

避難勧告

対象地域の方々に**避難の開始を勧める**ものです。

避難指示

対象地域の方々に**避難の開始を指示する**ものです。

家屋の風水害対策

風水害による家屋の被害を抑えるために、日頃から家の周りの点検や整備を行いましょう。

● 屋根

瓦のひび・ずれなどはないか。トタンのめくれ・はがれはないか。

● 窓ガラス

ひび割れ、窓枠のガタツキはないか。外側から板などでふさぐ。

● ベランダ

鉢植えや物干しざおなど飛散の危険性が高いものは室内へ。

● 雨どい・雨戸

雨どいに落ち葉や土砂が詰まっていないか。継ぎ目ははずれや塗装のはがれ、腐りはないか。雨戸にガタツキやゆるみはないか。

● ブロック塀

ひび割れや破損箇所はないか。

● 外壁

外壁に亀裂はないか。板壁の場合、腐りや浮きはないか。プロパンガスのボンベは固定されているか。

● 側溝

目詰まりしていないか。雨水が速やかに排出されるか。

